航空機操縦士養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要 (令和5年度)

技量向上ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■外部講師による訓練機関等を対象とした講演会の開催

- ・エアラインにおいて操縦士として活躍するための技量としては、操縦技術等のテクニカルなものだけではなく、コミュニケーションスキルやモチベーションなどのノンテクニカルな部分も求められる。令和5年度は、技量を習得するにあたっての根底となる部分の必要性について、エアラインパイロットを目指す訓練生・学生に伝えるべく、外部より講師を招いての講演会を令和5年5月17日にオンライン形式で開催した。
- ・講師として、不慮の交通事故で右目の視力を失いながらも、パイロットになる夢をあきらめず、単身アメリカに渡り自家用、事業用パイロットの技能証明、教育証明を取得された経歴を持つ「前田伸二氏」を招き、ご自身の経験等を踏まえてのメッセージを伝えてもらう機会を設けた。

今後の検討課題・取組み等

- ■外部講師による訓練期間等を対象とした講演会の実施
 - ・技量向上ワーキンググループでは、これまで航空会社及び養成機関を交えた意見交換、情報共有等により、より質の高い訓練生の養成を目指すべく活動を進めてきたが、「航空整備士・操縦士の人材確保・活用に関する検討会」では、引き続き私立大学の養成レベル向上を課題とする声もあがっていることから、乗員養成検討委員会とも連携しながら、私立大学や航空会社等へのヒアリング等を実施し課題の抽出を行う。

裾野拡大ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組

・現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会を開催。(対面・オンラインのハイブリッド形式)

■航空機産業人材確保に関する取り組み

- ・あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムによる航空機製造における中核的な人材を確保・ 育成するための社会人向け航空機産業製造人材育成講座(オンデマンド)を行い、即戦力となるた めの知識の定着を図った。加えて、高校生・大学生・専門学校生等向けの教育プログラムも実施し、 航空宇宙産業の仕事へ対する興味・関心を醸成した。
- ・中部経済産業局は、エアロマート名古屋2023の開催に併せて、専門学校、工業高等専門学校、 大学の生徒等を対象に航空サプライヤーとの交流を行い、航空機産業の関心を高める活動を実施した。

■その他裾野拡大に関する取組

- ・全国工業高等学校長協会主催で実施している教員に向けた夏季講習会で航空に関する講座を開催 (整備士およびグランドハンドリング20講座開催し122名の参加)
- ・各航空会社・各団体における取り組み(航空教室の実施、工場見学等)

今後の検討課題・取組み等

- ■「航空整備士・操縦士の人材確保・活用に関する検討会」の中間とりまとめも踏まえて、戦略的な広報 活動の実施に協力していく。
- 「女性航空教室」、「夏季講習会」その他講演会等のイベントについては、積極的に引き続き計画・ 実行していく。